

蛭ヶ岳山荘管理人樋詰さん10月より復帰 山荘管理営業体制が通常に戻りました

神奈川県大学のマナスル登山隊に参加していた蛭ヶ岳山荘の管理人樋詰順郎さんが10月より蛭ヶ岳山荘へ復帰いたします。

今回の遠征中に、隊員の小松廣美氏が体調を崩し、ヘリコプターにてカトマンズへ戻る途中、不幸にもヘリが山中に墜落し帰らぬ人となってしまいました。樋詰さんは落合隊長とカトマンズへ引き返し、小松氏の遺体とともに9月17日に帰国しました。登山隊本隊はマナスルを目指し、9月28日に樋詰さんと落合隊長と小松氏を除く全員が登頂成功することが出来ました。

小松さんの葬儀は、自宅のある蕨市の葬祭場にて、9月21日にしめやかに執り行われました。葬儀には北丹沢山岳センター理事長の杉本も参加いたしました。

生前小松氏には、蛭ヶ岳山荘や北丹沢12時間山岳耐久レース、東丹沢宮ヶ瀬トレイルレース、陣馬山トレイルレース等のサポーターとして多くのご協力を戴きました。心からご哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げます。

平成30年10月1日

蛭ヶ岳山荘

代表 杉本憲昭